

新型コロナウイルス感染症治療薬（ベクルリー® 点滴静注）

2020 年 5 月 7 日、抗ウイルス薬のベクルリー® 点滴静注用（一般名：レムデシビル）が特例承認されました。米国では、同年 5 月 1 日に緊急使用許可（Emergency Use Authorization）、10 月 22 日に正式承認されたので、世界で最初の新型コロナウイルス感染症治療薬になります。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、RNA ウィルスである SARS-CoV-2 による感染症です。生物の遺伝情報は、DNA→転写《RNA ポリメラーゼ》→mRNA→翻訳《リボソーム》→タンパク質の順に伝達されます。RNA ウィルスは、RNA 依存性 RNA ポリメラーゼを使い、DNA ではなく RNA を鋳型に 1 本の長いアミノ酸の鎖を合成し、プロテアーゼで必要なタンパク質を切り出します。

レムデシビルは、ウィルス特有の RNA 依存性 RNA ポリメラーゼを阻害することで、ウィルスの増殖を抑制します。新型インフルエンザ治療薬のアビガン®錠（一般名：ファビピラビル）も同様です。元々は、エボラ出血熱の治療薬として開発されました。同じ RNA ウィルスのエボラウィルスに対する比較試験の結果では、抗体製剤に有意に劣りました。このためレムデシビルをエボラ出血熱治療薬として承認した国はありません。

現時点での有効性、安全性のデータは極めて限られているため、可能な限り全例調査、文書による十分な説明と同意書、販売数量の報告などの承認条件が付きましました。原則として、酸素飽和度 94% 以下、酸素吸入を要するなどの重症患者が対象となります。重大な副作用として、急性腎障害や肝機能障害、インフュージョン・リアクションなどが報告されています。当面、日本への供給量が限定的なため、日本政府が買い上げ、厚生労働省が医療機関へ配分します。

日本救急医学会と日本集中治療医学会は、9 月 9 日に日本版敗血症診療ガイドラインの特別編（COVID-19 の薬物療法）を公表しました。そのなかで軽症患者への投与は「推奨」しない、酸素投与／入院加療を必要とする中等症患者、人工呼吸器管理／集中治療を必要とする重症患者については「弱く推奨する」としました。なお、COVID-19 に関連するエビデンスは、時々刻々変化しており、常に最新情報を確認する必要があります。

商品名	ベクルリー®点滴静注液 100 mg、同点滴静注用 100 mg
一般名	レムデシビル
会 社	ギリアド・サイエンシズ株式会社
本文冒頭	特例承認であり、有効性・安全性情報は極めて限られている
適 応	SARS-CoV-2 による感染症
用 法	【成人、40kg 以上の小児】初日に 200mg、 2 日目以降は 100mg を 1 日 1 回点滴静注 【3.5kg 以上 40kg 未満の小児】初日に 5mg/kg、 2 日目以降は 2.5mg/kg を 1 日 1 回点滴静注。 総投与期間は 10 日まで
薬 価	日本政府が購入し、医療機関や患者の費用負担はない

使用に際しては、添付文書を必ずお読み下さい。

日本版敗血症診療ガイドライン 2020 特別編（COVID-19 薬物療法）

本診療ガイドラインは迅速作成かつオンタイム更新を実施する
Rapid/Living recommendations である（2020 年 7 月 31 日時点）
常に最新版の情報を利用することを要望する

一般名（商品名）会社名	軽 症	中等症・重症	保険適応
レムデシビル （ベクルリー点滴静注） ギリアド・サイエンシズ	—	○	SARS-CoV-2 による感染症
ファビピラビル （アビガン錠） 富士フイルム富山化学	○	—	新型又は 再興型インフルエンザウイルス感染症
デキサメタゾン （デカドロン錠、注） 日医工、他	×	◎	重症感染症、ほか
ヒドロキシクロロキン硫酸塩 （プラケニル錠） サノフィ	×	×	皮膚エリテマトーデス、 全身性エリテマトーデス
トシリズマブ（遺伝子組換え） （アクテムラ点滴静注用） 中外製薬	—	—	関節リウマチ、ほか

◎ 強く推奨
○ 弱く推奨
— 現時点では推奨しない
× 投与しないことを強く推奨

2020 年 7 月 31 日時点